



消防団のあゆみ②

前回から消防団の歴史を掲載していきます。今回は昭和61年から現在までをご紹介します。



市制が施行された昭和61年当時600人近くを維持していた団員数は、ここ20年で100人以上減少しました。平成22年1月現在の団員数は、453人です。

牛久市消防団では、団員の確保に加え、限られた人員で職務を全うしていく方法を模索し、女性団員の任命や、分団の再編、事業の見直しなどさまざまな改革を行っています。昨年は、国の交付金を活用して水槽車を購入したり、入団資格から年齢上限を撤廃するなどして組織の拡充を図りました。今後も、引き続き改革を進め団の活性化につなげるとともに、団

牛久市消防団沿革(昭和61年から平成22年)

年・月	内 容
昭和61年6月	市制施行、牛久市消防団に改称
平成5年8月	日本消防協会から寄贈された乗用車を連絡車として配置
平成7年3月	牛久市防災行政無線戸別受信機を幹部・分団長宅に設置
平成15年7月	牛久市消防団本部に女性消防団を設置
平成19年4月	第27分団(大和田)と第29分団(中央)を統合し、第27分団(大和田中央)とする
平成20年4月	第19分団(上久野)と第20分団(下久野)を統合し、第19分団(久野)とする
平成21年2月	まちづくり交付金制度を活用し、水槽車を購入
平成21年6月	条例改正、入団資格から年齢上限を撤廃
平成22年2月	日本損害保険協会より消防車1台が寄贈される

員個々が持つ技術のさらなる熟達を目指し、牛久市の消防力維持、また、向上に力を注いでいきます。

第2つつじが丘行政区で市政懇談会を開催

1月31日に第2つつじが丘行政区で市政懇談会が開催されました。市からは池辺勝幸市長をはじめ、副市長、教育長ほか各部長が出席し、市民の皆さんと現在の市政の課題や地域の身近な問題などについて、熱心に話し合いが行われました(下写真)。

当日、市政懇談会で交わされた区民の皆さんからの意見や提言の一部をご紹介します。

主な意見や提言(抜粋)

- ・牛久市発展のための重点課題について
- ・牛久駅周辺活性化のため、牛久駅西口への大型店舗誘致などの働き掛けはできないものか
- ・牛久駅西口への郵便局誘致について
- ・田宮西親水公園(仮称)計画について
- ・第2つつじが丘区民会館脇の坂道について
- ・ボランティア活動におけるボランティア活動決算書の作成・提示について

※市では、市長が地域のさまざまな課題を市政運営に反映させることを目的として、各行政区役員の方々の懇談会を実施しています。今後も行政区や自治会単位で実施しますので、ぜひ活用ください。



ホームページ http://www.city.ushiku.ibaraki.jp/section/nisyo/kondankai/kondankai_index.htm

問い合わせ 市政秘書課 内線3201